

Press Release:2012.3.17

branch / forest 大村 大悟 展 — OHMURA Daigo works

2012年4月17日(火) — 4月29日(日) 11:00~19:00 ※最終日18:00まで・月曜休廊



【画像01・02】DM使用画像(本展展示作品「道具の話」)

ご案内

Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]では、2012年4月17日から29日まで、「branch / forest:大村 大悟 展」を開催いたします。

大村 大悟(おおむら・だいで / 1984~)は、これまでおもに土や木といった自然物、鉄やガラスといった無機質な素材を用い、それらの「もの」と「空間」が持つ要素に最小限の手を加えることで、新たな「もの:状況」をつくり出すかのような作品展開を試みています。

大村は、そのための方法として「もの」の意味や在り方、「空間」の持つ特性、「鑑賞者」の知識・経験・固定概念など、それぞれの要素や背景を丁寧に観察・収集します。そうして抽出された要素は、少しばかりの手を加えられることで際立ち、「もの」に小さなズレや違和感をつくりだします。

異なるものが持つ同一の要素を際立たせたり、不可視なある要素を可視化させるなど、それは「モノ」の価値や見え方に変化をもたらすような「仕掛けづくり」とも呼べる行為であり、それらは「鑑賞者」と「もの」と「空間」に新たな関係の「はじまり」を促すかのようなのです。

「木を見て森を見ず」の諺からイメージした本展タイトル「branch / forest(枝 / 森)」は、「知覚(目に見えるもの)」と「認識(イメージするもの)」との間にある幅をまず再認識する目論見からのものです。しかし、それは木(枝)と森といった「対比」のみを目的とするものではなく、そこにある幅こそが鑑賞者の「想像」が入り込む余地であり、提示されたひとつの「もの」が、鑑賞者それぞれの記憶・経験などの影響を受けながら、多彩なイメージへと枝分かれし、多様な価値観の存在に視線を向けさせる目論見からのものでもあります。

会場には、「道具の話(木の枝で作った棒)」「invisible hand(透明な手)」「ガラス(細長い擦ガラス)」と名付けられた、約7点の作品が配されます。それらは一見するとただの「もの」にしか見えないかもしれません。

しかし、それぞれが微かに放つ違和感を頼りに、目の前の「もの:状況」に目を凝らす中で、鑑賞者自身がそこに新たな価値や視点を生み出せるのではないのでしょうか。

Press Release:2012.3.17

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、Gallery PARC [galleryparc@grandmarble.com]迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 branch / forest : 大村 大悟展

出品作家 大村 大悟(おおむら・だいご)

会 期 2012年4月17日(火) — 4月29日(日) 11:00~19:00 ※最終日18:00まで・月曜休廊

主 催 ギャラリー・パルク

会 場 Gallery PARC(グランマーブル ギャラリー・パルク)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ]店舗内2階

【Tel & Fax】075-231-0706 【Mail】galleryparc@grandmarble.com 【HP】http://www.grandmarble.com/parc/

料 金 無料

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分
三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

展示内容 7点の立体作品によるインスタレーション。ガラス・木・鉄・樹脂・麻ひもなどに最低限の手を加え、それらを空間に配する事で鑑賞者の「もの」に対して持つイメージや価値を揺さぶり、価値観や固定概念が組み替わるきっかけを創出する。

お問い合わせ: Gallery PARC [グランマーブル ギャラリー・パルク] (正木・永尾)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ] 2F

【Tel & Fax】075-231-0706 【Mail】galleryparc@grandmarble.com



【画像03】
「Art Camp 2008」 展示風景
(サントリーミュージアム[天保山]・大阪、2008)

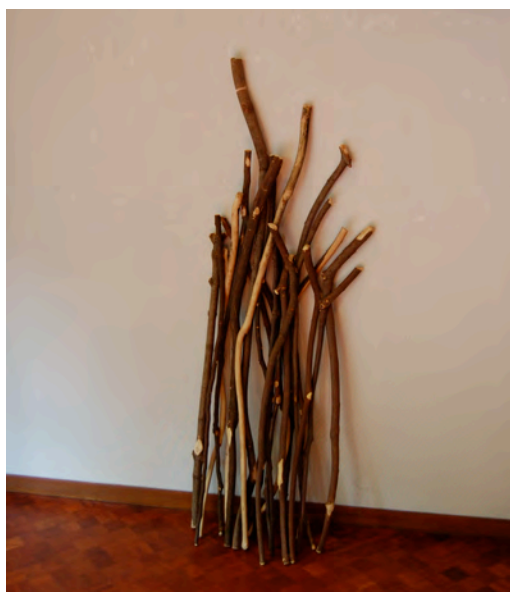


【画像04】
「Eutectic-Eutectoid」 展示風景
(Artislong Gallery・京都、2011)

Press Release:2012.3.17



【画像05】
《道具の話》
本展展示作品



【画像06】
「MASSIVE PROGRESSION」 展示風景
(Artislong Gallery・京都、2009)



【画像07】
「time・point of view」 展示風景
(GALLERY wks.・大阪、2008)

【展覧会について】

「夜這い」とは男性が女性の元へ夜な夜な忍び寄るという、あの夜這いのことなのだが、どこだったか南の島国には「夜這い棒」という道具があるらしい。

その島の男達は、各々で独自の彫刻を施した人の背丈ほどもある夜這い棒を、日中いつも持ち歩いている。

夜になると女性達のいる萱葺き高床式の建物へ行き、意中の女性の建物の床や壁に夜這い棒を突き刺し合図するのだ。

起こされた女性は、好きな男だったら（その気があったら）夜這い棒を引っ張って「OK」の合図を出し、こっそり家から出る。

こういった話をしていたら、日本にも昔はあったという話を聞いた。

年配の人達の話では、「何本か見たことがある」「もっと細くて短かった」「家の中で使うはず」「今も夜這い祭りで使う」と。

現代の価値観から言えば想像しにくい話もあるが面白みのある話ではある。

人によって違う、価値観やものの見方について考えている。

【ステートメント】

私は選択するという行為が、条件に合ったものを取り上げるということだけでなく何か他の意味を含んでいるように感じている。

選択を繰り返すことで、自分のなかに漠然とある可能性のようなものを分類し整理しているのかもしれない。

【作家略歴】

大村 大悟 OHMURA Daigo

1984 石川県生まれ

2007 成安造形大学 造形学部造形美術科 卒業

個展

2008 time・point of view (GALLERY wks./大阪)

2007 rich farmland (立体ギャラリー射手座/京都)

グループ展・公募展

2011 Eutectic-Eutectoid (Artislong Gallery/京都)

2010 主張展 (Artislong Gallery/京都)

sowaka clip9 (gallery sowaka/京都)

2009 Emotion release(ギャラリーアートサイト/滋賀)

しがアートフェスティバル2009 (滋賀会館/滋賀)

MASSIVE PROGRESSION (Artislong Gallery/京都)

Magnet design exhibition tour 09 (兵庫県立美術館/兵庫)

2008 Art Camp 2008 (サントリーミュージアム[天保山]/大阪)

現代彫刻展vol.2 (吹田市文化会館MAY THEATER/大阪)

2007 彫刻 包摂される空間 (ギャラリーアートサイト/滋賀)

艶展 (gallery ryo/大阪)

2006 湖族の郷アートプロジェクト (伊豆神社境内/滋賀)

アートナウKANAZAWA (金沢21世紀美術館/石川)

2005 現代への視点vol.10 (守山市民ホール/滋賀)

受賞

2006 大津市展 朝日新聞社賞 (大津歴史博物館/滋賀)

2005 西宮市展 市展奨励賞 (西宮市立市民ギャラリー/兵庫)